

小学校第1学年 生活科 単元名「いっしょがいいね」

1 本単元で人権教育を進めるにあたって

本単元は、家庭生活が、家族の仕事や温かさによって支えられていることに気づき、家族の一員として自分のできることを考え、進んで自分の役割を果たすとともに、規則正しい生活を送ることができることをねらいとしている。

本学習において、自分の家庭のことを調べ、友だちの発表を聞く中で、家庭生活は家族全員がそれぞれに協力し合って支えられていることに気付かせることができる。これらの学習活動は、「義務」「相互依存性」「連帯性」といった自他の人権を尊重していく上において重要な諸概念の理解を培うものである。

自分自身の家庭生活を考えさせる中で、男女の協働や世代間を超えた協力として、自分ができることを考えさせ、それぞれの家庭で実践していく。その中で仕事や役割、家庭の温かさを実感し、家庭生活が楽しくなるためには、お互いを思いやり助け合うことが大切であることを理解できるようにしたい。

2 単元の目標

家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、家庭生活の中で自分の役割を積極的に果たそうとする。

家庭生活やその中で育った自分自身のことを振り返り、規則正しく健康に気を付けて生活することができる。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

○家庭生活には、たくさんの仕事や役割があり、それらは家族が協力することで成り立っていること、互いに思いやり助け合っていることを理解する。（知識的側面）

4 指導のポイント

(1) 知的理解を図る上で大切にしたいポイント

- 活動のねらいや内容を事前に保護者に伝え、児童の家庭での実態を把握し、連携しながら活動を進めていく。
- 家族の姿には、いろいろな形態があることに気付かせるとともに、いずれの家庭においても、互いに協力し、努力していることを理解させる。
- 調べたり実行したりして、気付いたことや感じたことを発表したり感想を交流したりする場を設け、それぞれの家庭生活の工夫に触れさせる。
- 家の中でやってみたい仕事では、より成就感を味わうために、「やってみたいことを家族に伝え尋ねる→家族とともにやってみる→自分一人でやってみる→自分の役割としてやっていく」というステップを踏んで行うようにする。
- 終末に「かぞくにこにこ大作戦」を設定し、家庭生活が楽しくなるにはどんなことをすればよいのかを考え、家族の楽しみや団らん、喜びに目を向けさせる。また、活動して分かったこと気付いたことの発表会を行い、家族のためにできることが増えた自分の成長や家族への思いが深まったことを確かめさせる。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

- ① 自己存在感
家庭の中の仕事調べ、「かぞくにここに大作戦」等の活動を通し、自分にできることを実践することで、家族から必要とされているという成就感を味わわせる。
- ② 共感的人間関係
家庭の中の仕事調べを通し、学級の友だちもそれぞれの家族での役割を果たすために努力していることを分からせる。
- ③ 自己選択・決定
友だちの発表を聞いて、自分の家で自分ができるところを考えさせ、それを実行できるように支援する。

5 学習の流れ

(1) 指導計画（12時間取り扱い）

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 いっしょがいいね 家庭生活を支える家族のことや自分のことを考え、自分と家族とのかかわりに関心をもつ。	○児童一人一人の家庭環境を十分把握し、それぞれの家族の多様性やよさを認め児童に伝える。
2 いえの中でさがしてみよう 家族の中で、「誰が」「どんな仕事をしているのか」について、諸感覚を通して調べ、家庭内にはさまざまな仕事があることや、それを家族が行い家庭生活を支えていることに気付く。 (本時) 【2時間】	○家庭の中の音などを調べさせ、家庭の中の仕事、それをしている人の様子を知りつつかませる。 ○家庭の中の仕事をする家族の共通の思いに目を向けさせる。
3 いえのしごとにちょうせん 家庭の中で自分のできる仕事を見つけ、家族とともにいたり、自分の役割として継続していたりする。 【3時間】	○家庭に任せっきりにせず、取組の様子を尋ねたり、ほめたりする。 ○仕事に挑戦して、気付いたことや感じたことを伝え合い、お互いの頑張り認め、日常化につながるようにする。
4 かぞくにここに大きくせん 家族のために、自分ができるところを考えて行い、それを友だちに伝え合うことを通して、家族に喜んでもらう楽しさや、それができるところに気付く。 【4時間】	○家族の気持ちに気づき「家族にここに大作戦」を行うことで、家族の団らんや楽しみ、喜びにも目を向けさせる。 ○家の人との手紙のやりとり等から、家族が支え合っていることに気付かせる。
5 おはなしのじかん 成長にあたって、家族の支えや家族の願いに気づき、健康に気を付け規則正しい生活をしようとする意欲を高める。	○家族に守られて成長してきた自分に気付かせ、家族への感謝の気持ちを持たせる。
6 ふゆやすみ 日本の伝統的な習慣や行事について知り、年末年始を家族とともに楽しく過ごすためにできるところを考える。	○冬休み中は、楽しく過ごすことに加え、規則正しい生活をして健康や安全に気を付けて生活することが家庭生活で大切なことを確かめさせる。

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例(2・3/12時間目)

目標

◇家庭内にはさまざまな仕事や役割があること、それを家族が協力して行うことで家庭生活を支えていることに気付く。

人権教育で育てたい資質・能力

◆家庭内にはさまざまな役割があり、お互いに思いやり、助け合って生活していることに気付く。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
1 家庭の中の仕事の音を聞いて、本時のめあてを知る。	○家事をするときの音を聞かせ、家庭の中の仕事に興味を持たせ、本時の学習意欲を高める。	PC
いえの中で、だれがなにをしているのか、さがしてみよう。		
2 家庭の中で、だれがどんなことをしているのかについて、諸感覚を通して調べてきたことをカードに記入する。	○家庭の中の仕事には、たくさんの種類があり、それぞれの仕事を家族が協力して行っていることに気付かせる。	ワークシート1 (家の中の仕事調べ)
3 カードを見ながら、調べたことを友だちと伝え合う。	○「誰が何をしていたか」を出し合う。 ○「見たこと」「尋ねたこと」にとどまらず「音、におい、味、手触わり」についても紹介し合うようにする。	
4 友だちと質問し合い、共通点や相違点を考える。	○友だちと同じところや違うところに気付くように整理して板書する。 ・家の中の仕事の種類 ・誰がしているか ・音やにおいや味や手触わり ・仕事をしている人の思い	ワークシート2 (気付きカード)
5 仕事をしている人の思いについて話し合う。	○家庭によって仕事のやり方等が違っていても、家族への温かい思いやりは同じであることに気付づかせる。 ◇家庭の中には、さまざまな仕事があり、それを家族が協力して行っていることに気付く。 ◆家庭の中にはさまざまな役割があり、互いを思いやり、助け合っていることに気付く。	
6 学習の振り返りをし、自分にもできることをやってみたいと意欲をもつ。	○家庭のよさを感じるとともに、自分にもできることをやってみたいと意欲を持たせる。 ○次時の予告をする。	お手伝いの写真

6 資料

ワークシート1

☆いえのなかのしごとしらべ☆

音・におい・あじ・手ざわりをあつめよう！

月 日 名まえ

音・におい・あじ・手ざわり

どんな

だれが

なにをしていた

どんなきもちで

ワークシート2

☆きづきカード☆ 月 日 名まえ ()

- 1 「いえのなかのしごとしらべ」で、ともだちとおなじだったところやちがったところをかきましょう。

○「おなじところ」みつけたよ！

Two horizontal lines for writing inside a rounded rectangular box.

○「ちがうところ」みつけたよ！

Two horizontal lines for writing inside a rounded rectangular box.

- 2 きょうの学しゅうで、きづいたことやかんがえたことをかきましょう。

A dashed rounded rectangular box for writing.